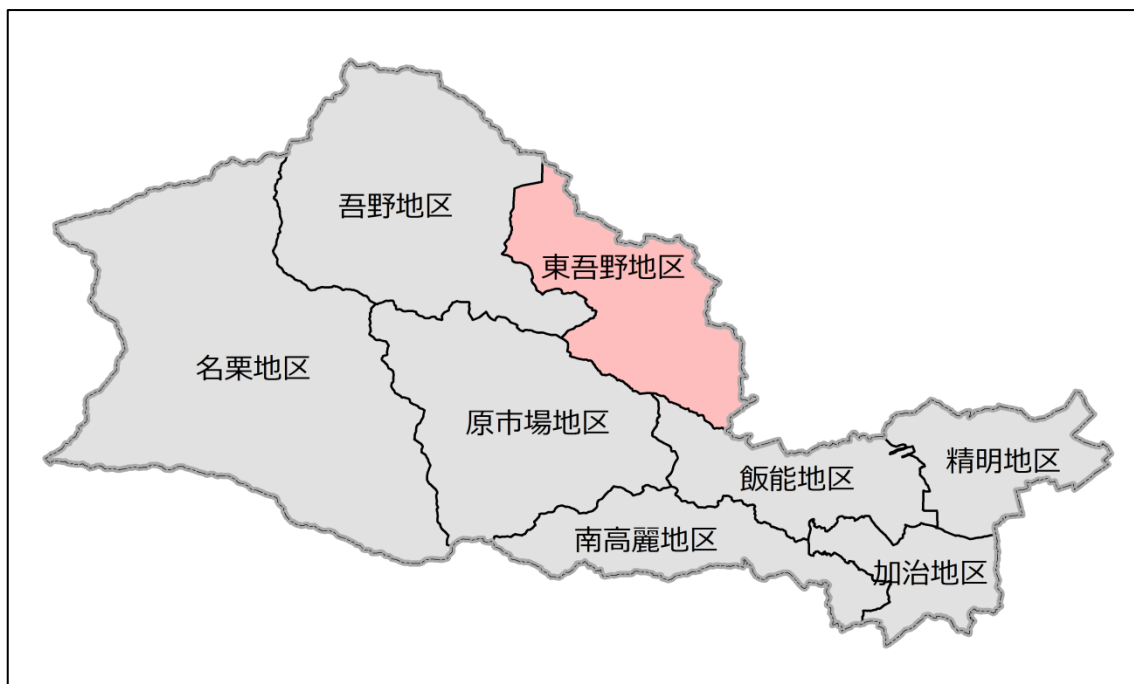


## 6 東吾野地区まちづくり構想



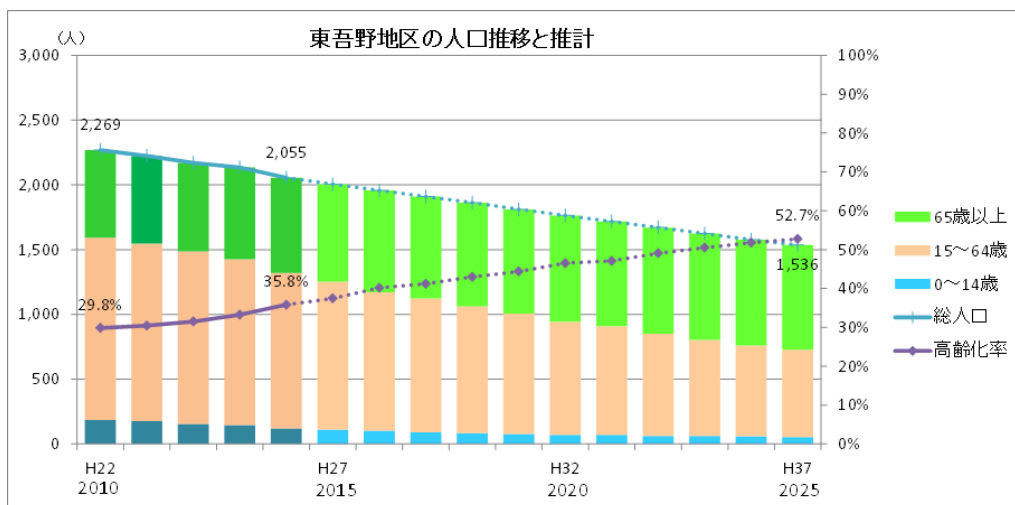
## (1) 地区の概況

区域区分	面積	市街化区域 面積	市街化区域 面積割合	DID 面積	DID 面積 割合
都市計画区域外	2000.0ha	0ha	0%	0ha	0%
人口	世帯数	人口密度	H26 高齢化率	H37 高齢化率	
1,966 人	824 世帯	98.3 人/km <sup>2</sup>	35.8%	52.7%	

\*人口・世帯：平成28年1月1日時点

\*高齢化率：第5次総振

■地区別人口（第5次総振）



■地区の特性

- ◆市の北西に位置し、豊かな森林と高麗川を有する
- ◆恵まれた自然環境と清流「高麗川」
- ◆国道299号沿いに集落が形成
- 【自然・地域資源】 高麗川・顔振峠・ふれあい農園・木工工房・ユガテ
- 【歴史・文化遺産】 福德寺・長念寺・諏訪神社
- 【鉄道駅】 東吾野駅
- 【生活拠点】 東吾野駅周辺

■地区の課題

- ◆清流の保全のために合併処理浄化槽の普及
- ◆未給水地域の解消
- ◆公共交通の維持確保
- ◆空き家の利活用
- ◆高麗川の水量減少やコンクリート護岸による水辺環境の変化
- ◆自然災害等に対する防災対策

## (2) 地区まちづくりの目標

### ■まちづくりのキーワード

- ①歴史や文化を感じ、彩りと安らぎのあるまちづくり
  - ▶地域内で特色のある花木の里づくり
  - ▶歴史や文化を伝える地域資源や山村風景を結ぶ「歴史の道」などの道づくり
  - ▶子どもから高齢者までが安心して暮らせる定住環境の整備
- ②名所や史跡、体験施設などを生かした交流を促すまちづくり
  - ▶体験型施設を交流拠点とした利活用
  - ▶空き家や山村資源を活用したエコツーリズムによる交流を生む集落環境の形成
- ③水辺と山辺の暮らしを大切にしたいまちづくり
  - ▶源流地域としての清流の保全と活用
  - ▶飲料水の安定供給
  - ▶河川沿いの農村集落や山村集落の景観保全
  - ▶合併処理浄化槽の設置促進と水質浄化

## (3) 地区まちづくりの方針

### 1) 土地利用の方針

#### ①吾野中学校周辺

- 吾野保育所、西川小学校、吾野中学校が立地する周辺は、子どもたちの通学や送り迎えなどが安心してできるよう、安全な交通環境の形成を図ります。
- 林業の面影を感じる製材所などを活用して林業のまちを体感する場を確保し、地域の産業や生活文化の伝統を生かすエコツーリズムを展開する環境の形成を図ります。

#### ②東吾野駅周辺

- 東吾野地区行政センター、東吾野小学校などが立地する東吾野駅周辺を「生活拠点」として位置づけ、生活基盤の整備を進めるとともに、商業店舗など生活利便施設の立地を図り、賑わいのある生活の中心ゾーンとしての形成を図ります。
- バリアフリー化など東吾野駅の利便性の向上を図るとともに、自動車・自転車による利用の利便性を向上するため、駅前交通広場等の拡充や駐車場、駐輪場などの確保を図ります。

#### ③国道 299 号沿道

- 観光施設、サービス施設などの適正な立地を促進するとともに、沿道集落内に残る伝統的な景観を生かした土地利用の形成を図ります。
- 住宅需要に対応して適切な誘導を行い、周辺の豊かな自然環境や農林業環境と調和した土地利用を図ります。

#### ④奥武蔵グリーンライン沿道

- 自然環境の保全とハイキングのまちにふさわしい眺望のある景観形成を図るとともに、観光施設の立地を促進し、自然と観光が調和した土地利用を進めます。
- 農林産物の販売や休憩する場所、観光情報の提供の場所の確保を図ることにより、ハイキングや眺望を楽しむ来訪者が訪れる観光ルートの沿道にふさわしい、土地利用を推進します。

#### ⑤農山村集落地

- 長沢、虎秀などの河川沿いに形成された集落地は、周辺の豊かな自然環境や農林業環境と調和した定住環境が形成される土地利用を図ります。
- 風影、阿寺などの山村集落地は、環境と共生する伝統的な形態を生かした、ゆとりある土地利用の推進を図り、暮らしやすい住環境の形成を推進します。
- 山上の桃源郷と称されるユガテの集落景観を保全し、自然と共存する山村集落の土地利用を進めます。
- 集落地の豊かな自然環境の中で暮らせる農山村地域として、また、だれでもできる農業の場を創出し、定住環境の形成を図ります。

##### 【まちづくりのメニュー】

- ・生活拠点の関連施設と環境の整備と充実
- ・観光施設、サービス施設などの適正な立地の促進
- ・自然と調和した居住環境と定住環境の形成
- ・ハイキングや観光情報とサービス機能の充実

## 2) 交通体系の方針

### ①地域の移動手段

- 将来の外出に対する不安への対応について、スクールバスや鉄道などの地域資源との連携を含み検討します。
- 高齢者などの交通弱者をはじめ、住民の日常生活の利便性を確保するため、既存の公共交通と連携して地域での生活を支える新たな移動手段を検討します。
- 地区の実情にあった市民相互の助け合いにより、暮らしやすい移動交通の仕組みづくりを進めます。

### ②道路

- 国道 299 号
- 見通しの悪い区間の走行性向上や歩行者が安心して通行できるゆとりのある道路空間を形成するよう整備を促進します。
- 飯能地区、原市場地区を結ぶ林道長尾坂野口入線との接続性を向上するとともに、高麗川右岸を走る林道などを活用し、災害時などの迂回路として整備を図ります。

●主要地方道越生長沢線

- 車道拡幅や急こう配の解消などの改良整備を促進し、走行性の向上を図ります。
- やまなみなどの眺望を楽しむ、ゆとりのある道路空間として整備を促進します。

●奥武蔵グリーンライン

- 荻場坂峠から尾根筋を走り、毛呂山町の鎌北湖などへ至る奥武蔵グリーンラインは、歩行者にも安全で観光ルートにふさわしい道路空間の整備を促進します。

【まちづくりのメニュー】

- ・公共交通の維持確保
- ・歩行者が安心して通行できる道路空間の整備

### 3) 水と緑のまちづくりの方針

#### ①高麗川

- 河川改修にあたっては河岸林の植樹などにより、水辺と豊かな自然を感じる景観を形成するよう整備を促進します。
- 散策道や橋詰広場などの設置により、水辺を楽しむ親水空間の形成を図るとともに、子どもたちが安心して遊べる水辺空間の整備を促進します。

#### ②ふれあい農園周辺

- ふれあい農園周辺を「水と緑の交流拠点」として位置づけ、レクリエーション活動ばかりでなく、体験型農林業観光の中心ゾーンとしての形成を図ります。
- ふれあい農園の活用を促進し、農業体験や環境学習の場として充実するとともに、市民や観光客が水辺に親しみ、交流が生まれる場となるよう、充実を図ります。

#### ③水と緑のネットワーク

- 「都市回廊空間」と山間地をネットワークする「水と緑の交流」をまちづくりの新基軸に据え、自然環境と都市環境が融合・調和するまちへの転換を図ります。
- 高麗川やユガテ、顔振峠、天覚山、福德寺、諏訪神社など地域の名所・史跡を巡り、武蔵横手駅と東吾野駅を結ぶルートや飯能地区、吾野地区、原市場地区にもつながるルートを自然・歴史・文化を楽しむ散歩道として設定し、里を取り込んだ回遊性のあるネットワーク形成を図ります。
- 奥武蔵グリーンラインと並行するルートや大高山から、天覚山を結ぶ尾根筋のルートについては、やまなみの眺望を楽しむ場の確保を図り、尾根筋からの眺望を生かした道づくりを検討します。
- 観光客が安全・快適に楽しむことができるよう、指導標の設置やサイクリング環境の整備、ハイキングコース、観光トイレ等の整備を推進します。
- 山あいの家々を訪ねるふれあいツアーなど、地域の生活文化や伝統を生かすエコツーリズムが展開できる住民活動の場を確保し、交流を促す環境の創出を図ります。

【まちづくりのメニュー】

- ・水辺環境を生かした親水空間の創出
- ・「都市回廊空間」と「水と緑の交流拠点」の活性化と融合
- ・自然環境の保全と生物多様性の保全
- ・エコツーリズムの展開と交流促進

#### 4) 景観に配慮したまちづくりの方針

- 秩父街道の面影が残る白子の旧道沿道は、武蔵横手駅に近い立地を生かし、西川材を活用した歴史を感じる街並みの創出や散策ルートづくりを進め、エコツーリズムを楽しむ環境形成を図ります。
- 西川材などの地域資源の活用により、後背地の自然景観と調和した集落地景観の形成を図ります。
- 西川材を使用した住宅等の建築や板塀の設置に対し補助金を交付し、木のぬくもりや地域の個性を感じる景観形成を図ります。
- 幹線道路沿道は広葉樹化を進め、四季を感じる自然景観の創出を図ります。

【まちづくりのメニュー】

- ・自然環境と調和する街並み景観の形成
- ・歴史的建造物や西川材を利用した景観まちづくり

#### 5) 安心・安全なまちづくりの方針

- 合併処理浄化槽の設置促進など、地域の状況に応じた排水処理により水質汚濁を防止し、河川・水路などの多様な水辺環境の保全を図ります。
- 未給水地区への対応として、山間地域給水施設整備等補助金制度の啓発に努めます。
- 空き家に対して、市と民間、地域が連携し、地域に適した空き家の利活用を図ります。また空き家の実態把握に努め、維持管理を所有者に促すなど、適切な対応を図ります。
- 女性や若い世代が安心して子育てができるよう、地域コミュニティ機能を強化し、地域全体での子育て支援を図ります。
- 緊急輸送道路沿道の建物の耐震・不燃化を促進し、緊急用の輸送道路や避難路を確保します。
- 地すべり、斜面崩壊などの土砂災害に対する治山・治水事業を促進するとともに、農林行政と連携し、土砂災害などを未然に防ぐ総合的な施策の展開を図ります。
- 危険区域の周知、警戒避難体制の充実を図りつつ、開発防災マップを活用し、山間地、丘陵地における急傾斜地の開発を抑制し、土砂災害の軽減を目指し安全な住環



境整備を進めます。

- 地区行政センターほか地区内にある公共施設等の将来の活用形態や適正規模を見据え、地域住民の生活・活動拠点の整備・配置を検討します。
- 「第2次飯能市環境基本計画」に基づき、太陽光や太陽熱、バイオマス等の再生可能エネルギーの住宅や公共施設への導入を促進します。

【まちづくりのメニュー】

- ・合併処理浄化槽の設置促進と水辺環境の保全
- ・未給水地域の給水施設整備のための補助金制度の活用
- ・緊急輸送道路沿道の建物の耐震・不燃化を促進
- ・地域ぐるみの子育て支援
- ・自然災害等に対する防災対策
- ・再生可能エネルギーの導入促進



■東吾野地区まちづくり方針図

